Cruises Historia

クルーズご意見番〝松浦睦夫〟が語る

ゆたか倶楽部 よもやま話

vol. 3

―歴代の客船をゆたか倶楽部の歴史とともに振り返える新コラムです。語り部は、初代クルーズマスターのゆたか倶楽部創設者、松浦睦夫です。―

クルーズ元年の翌年、1990年（平成2年）は、クルーズ需要の傾向が大きく変わり始めた年でした。当時の日本のクルーズ業界は、企業の研修や青少年向けの「青年の船」、各種団体のセミナーなどのチャーター需要に支えられていたのですが、船会社の自主クルーズが徐々に増えてきたのです。

「新さくら丸」（1万9811トン）は、1972年（昭和47年）就航、日本初の巡航見本市船「さくら丸」の2代目に当たります。ちなみに「さくら丸」は私のクルーズ人生の基盤を築いた船です。見本市船は多くの日本製品を積み込んだ「動く展示会場」で、海外で商品見本市を開いて日本製品を売り込むことを目的とし、船自体も日本の産業レベルを示す製品見本であり、最新技術が施されていました。日本の黒字貿易が注目されるようになると、日米貿易摩擦解消を目的に輸入促進のために米国製品を積んで日本各地を巡航する「ボーティック・アメリカ」も実施しています。新さくら丸が日本産業巡航見本市協会から商船三井客船（※MOPAS＝モパス）に売却され、1981年（昭和56年）の改装では、研修や講演のチャーター需要を意識したクルーズ客船へと大変身。しかし、新造船が続く中、新さくら丸のチャーター需要が減り自主クルーズを企画するようになると、ゆたか倶楽部でも取り扱うことになりました。「鳥羽クルーズ3日間」は4人部屋利用で1名3万5000円。朝日新聞の折り込み紙「定年時代」と提携して350名を送客し、定員558名を満員にしました。

デビュー2年目を迎えたMOPAS「ふじ丸」（2万3340トン）の自主クルーズ「紅葉の十和田湖とみちのくクルーズ」では、約40名を送客。ゆたか倶楽部の集客力はMOPASから一目置かれるようになりました。このクルーズには私も添乗したのですが、石原慎太郎氏が典子夫人と同乗していました。実は、ふじ丸のゴットマザー（命名者）は典子夫人で、慎太郎氏が運輸大臣だった時に名付け親になりました。そのお礼として船会社が招待し、MOPAS営業部長の渋沢忠氏がアテンド（お世話役）をしていました。

その渋沢氏から、送客協力の相談があったのは12月です。北海道生産性本部が新さくら丸の「グアム・サイパンクルーズ」をブロックチャーターしているが、80名ほどしか集まっていないという話でした。「老人クラブで集めましょう！」ということになり、埼玉・静岡・栃木・茨城を中心に関東圏の老人クラブにパンフレットを配って、老人クラブ会員約150名、ゆたか倶楽部会員約40名、合わせて約190名に参加いただきました。

新さくら丸は、見本市船から客船になるために改装に改装を重ねたため、レストランへの入り口が全部で6か所あるという客船としては考えられない構造になっていました。しかも、フィンスタビライザーが付いていないので、揺れる時はどうしようもなく揺れます。しかし、新さくら丸に乗った方からの評判はよく、ゆたか倶楽部で何度もチャーターさせていただきました。私が乗船するたびに、同じ長野県出身の神津船長が講話の中で自慢のハーモニカを吹いてくださったのも懐かしい思い出です。

1990年、日本クルーズ客船の営業部長の横山俊雄氏から「おりえんとびいなす」（2万1884トン）の処女航海クルーズの販売要請を受けました。テレビ局の後援が付いた上海クルーズです。テレビ局だからやることがすべて派手なのですが、集客にはうまく結びついていませんでした。そこでゆたか倶楽部の会員を中心に約50名を送客し、私と佐藤朋美（現・弊社営業部長）が添乗しました。これが縁で後年この時のテレビ局と組んで、ふじ丸「東南アジアクルーズ」を実施することになったのですが、これまた集客に苦戦。テレビ局側は「キャンセル料を払って中止しましょう」と言ってきましたが、「あなた方は大会社だから今回はキャンセル料を払って損金計上すればハイ終わりでよいでしょうが、こちらは違う。これからもずっとクルーズ業界にいて、船会社と付き合っていく。船会社は船を動かしてお客様を喜ばせるのが仕事で、キャンセル料をもらうのが本意ではない。当社は赤字になってもやる！」と反論。この気持ちがチャーターを始めた時からの私の信念です。ですから今もこうして船会社のパートナーとして、会社を続けていくことができていると思うのです。〈次号に続く〉

日本のクルーズ略史（「日本客船」自主クルーズ運航）

1972年	巡航見本市船「新さくら丸」就航
1981年	「新さくら丸」クルーズ客船に改装就航
1989年	「ふじ丸」就航（クルーズ元年）
1990年	「おりえんとびいなす」就航 ゆたか倶楽部、新さくら丸やふじ丸の船会社主催の自主クルーズの販売スタート

※「Mitsui O.S.K. Passenger Line Ltd.」の略称